



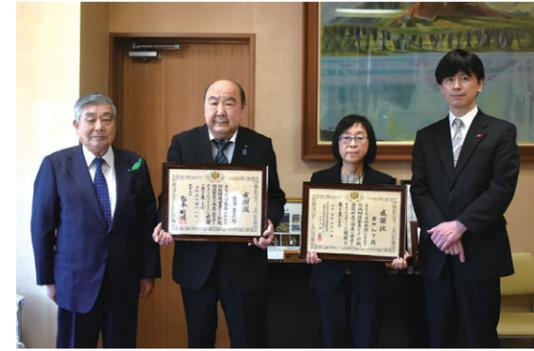
東京猪苗代町民会
総会・懇親会



1. 2_ 思い出話に花を咲かせ交流を深める参加者
3_ 会員が町民会の歌「猪苗代っ子」を斉唱

首都圏などに住む猪苗代町出身者でつくる東京猪苗代町民会の総会・懇親会は5月13日、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで4年ぶりに開かれました。町からは前後公町長、渡辺真一郎議長ら24名が出席。

懇親会は、数年ぶりに友人と再会した人や出身地区の思い出話に花を咲かせた人たちの笑顔であふれていました。また、会員による会津磐梯山の歌唱も披露されるなど、大いに盛り上がりました。



感謝状を受けた宮澤さん(左から2人目)と兼田さん(同3人目)

宮澤さんに総務大臣感謝状

退任した行政相談委員への感謝状贈呈式

退任した行政相談委員への感謝状贈呈式は4月19日、町役場で行われ、上田貴福島行政監視行政相談センター所長が宮澤重正さんに総務大臣感謝状を手渡しました。平成21年4月から今年3月末まで、行政に関する要望や地域の困りごとなどの相談に対応してきた宮澤さんは「ほかの人にも相談しながら、ともに14年間歩んできた」と振り返りました。同相談委員を2年間務めた兼田和子さんにも、上田所長から感謝状が贈られました。

桜を通じ国際友好を誓う

日本・インド友好親善さくらの記念植樹祭

「日本・インド友好親善さくらの記念植樹祭」は4月24日、ホテルリステル猪苗代で5年ぶりに行われました。平成10年に始まったさくらを通じた交流は、今回で19カ国目。

式典では、国際親善さくらの記念植樹祭実行委員会の鈴木長治実行委員長やインドのシビ・ジョージ駐日大使らがあいさつ。鈴木実行委員長や前後公町長、ジョージ駐日大使らがシダレザクラの若木3本を植え、さらなる交流を誓い合いました。



シダレザクラの若木を植樹する関係者

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

佐川 竜二さん

主な活動内容：6次産業化、農産物の普及



地域おこし協力隊の佐川です。2020年7月に猪苗代町へ移住してから早いもので3年が経ち、6月で地域おこし協力隊を卒業します。

協力隊の期間中は「いなわしろ天のつぶ」のブランド化に力を注ぎ、コロナ禍で行動制限される中で神奈川県箱根町へ赴き、販売促進活動を行いました。その結果、取引が全くなかったところから、令和4年度には4.9トまで取引量を増やすことができました。お米の評価も高く、今後にもさらに取引量の増加に取り組んでいきたいと思っています。

また、オープン(2021年10月)から1年半が経過したゲストハウスは、協力隊卒業後も安定した収入が見込めるようになってきました。これからは、ゲストハウスを中心に生計を立てながら、町の活性化に繋がる事業を展開していきたいと思っています。

町民の皆様には、地域おこし協力隊を通してお世話になった事に感謝を申し上げます。そして、これからもどうぞよろしくお願ひします。

ドッグランがオープン

小型犬用に1区画、大型中型犬用に1区画を整備



ドッグランで愛犬と遊ぶ利用者

道の駅猪苗代に4月28日、ドッグランがオープンしました。ドッグランの施設は、小型犬用に1区画、大型中型犬用に1区画が200㎡ずつ整備され、愛犬たちが自然に近い形でのびのび遊べるよう全面天然芝となっています。利用時間は、4月から11月の午前9時30分から午後4時までで、無料で利用可能。道の駅利用者の増加と愛犬家同士の情報交換の場として利活用が期待されます。

防火の決意新たに

町消防団春季検閲を挙行

町消防団春季検閲は4月29日、猪苗代小学校校庭で行われ、消防団員ら約400人が参加しました。検閲前には、町役場から猪苗代小学校まできびきびとした動きで分列行進。検閲では、検閲官の前後公町長らが通常点検と団員の装備品などを確認しました。規律訓練では、各団員らが訓練の成果を披露。前後町長が講評と訓示をし、六角武志団長があいさつを述べて、防火の決意を新たにしました。



きびきびとした動きで分列行進する消防団員ら